



# スピリット 常中魂

平成28年 4月 21日 NO. 8  
〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
TEL029-269-2116  
FAX029-269-3160  
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

## 家族関係をよりよくしていく

三年生たちは、家庭科で「家族関係をよりよくしていく」という勉強をしています。二十日の六校時目は三年三組で、この学習が行われました。

『家族関係がうまくいっていない、と感じるときはどんなときですか』と、大内美保子先生から生徒たちに質問されました。すると、『家族が、特にお母さんがイライラしているとき、怒っているときに、うまくいっていないと感じる』という意見が多く聞かれました。

男子生徒の中には、「家では一言もしやべらない」という生徒もいましたが、一方では「毎日必ず家族と会話をする」という男子生徒も、五・六名いました。男女を分けずクラス全体でみると、約半数強の生徒

が毎日家族と会話するという実態でした。

生徒たちの具体的な話合いの様子も紹介します。

【どんな時に、家族がうまくいっていないと感じるのか】

「家族（お母さん）が、自分にガミガミと言うので家族関係がうまくいかないんだよ」中には、ズバツとこう言い切る生徒もいました。

大内先生から、「家族が、あなたにガミガミと言っているときは、『家族のあなたへの気持ち』を想像してみよう」という発問に対しては、

「（私のことを）ウザいと思っているのだと思います。」「私も、ひどいことを言われたことがあります。」「将来のことも、考えてくれている。」「ちゃんとした大人にしようとしてくれている（賛成意見多数）」

「大人になったときに、どうするか今、それを直さないとダメなんじゃないの、と思っかけていることは感じます。」

「その気持ちは分かるけど、一方的に言われると、『違うな』と思うんです。」「怒るときと怒らないときの差が激しすぎです。」このような意見が聞かれました。

この授業は、「家族関係を考え、自分はどういう大人にならなければならないか」を考えるための、よい学びとなったようです。



## 一步前に踏み出して打つ!

4月も後半に入り、各部活とも練習に熱が入っています。ソフトボール部も例外ではありません。今朝は、川又先生の熱い指導が見られました。「一步前に踏み出して、打つ!」今、何が足りないのか。今、何ができるのか。チームと自分の今をきちっと分析し、技術面、精神面とも伸びていくと欲しいと願います。



体制を崩されても、気持ちで『打つ!』

## JRC委員会より、皆様へ



JRC委員会（菊池はるか委員長）より、以下のような申し出がありました。そのまま掲載します。

私たちJRC委員会では、熊本県で発生した地震で被災した方々に向けて募金活動を行っています。五年前に私たちが東日本大震災を経験したとき、たくさんの方々に助けていただきました。そのことを思いだし、次は私たちが何かできないだろうかと考えてこの活動を始めました。

私たちの目標は一人一人が、『熊本県の方々ががんばってほしい』という気持ちをもって募金してもらえるようにすることです。

短い期間ですが、たくさんの方々に協力してもらえようと呼びかけていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

JRC委員会の皆様の主体的な提案に、常中魂を感じています。「頑張れ熊本」「関東から届け絆」という気持ちをもってJRCの皆さんの活動を応援したいと思います。

